

那須塩原市 議会だより

第51号
平成26年2月20日発行
栃木県那須塩原市
議会だより編集委員会
議会事務局
TEL0287-62-7181



特集! 第2回議会報告会を開催 ② 議案の審議結果 ⑥
陳情等審議結果 ⑧ 委員会の主な審査 ⑨
市議会レポート(那須地区食肉センターの現地調査を実施) ⑩
ここが聞きたい!~会派代表質問&市政一般質問~ ⑪

定例会のあらまし

平成25年第6回那須塩原市議会定例会は、11月29日から12月18日までの20日間にわたり開催されました。

市長からは人事案件1件、平成25年度補正予算案件10件、条例の制定及び一部改正案件19件、報告案件2件、その他の案件7件の合計39件が提出されました。

議会からは、意見書提出案件1件、その他の案件1件の合計2件が提出されました。

会議日程

- 11月29日(金) 本会議
- (開会・議案の提案説明等)
- 12月2日(月) 本会議(会派代表質問・3人)
- 4日(水) 本会議(市政一般質問・4人)
- 5日(木) 本会議(市政一般質問・4人)
- 6日(金) 本会議(市政一般質問・4人)
- 9日(月) 本会議
- (市政一般質問・1人・質疑・議案等の委員会への付託)
- 10日(火)~13日(金) 委員会 (付託議案等審査)
- 17日(火) 委員会
- (予算審査特別委員会全体会)
- 18日(水) 本会議
- (委員長報告・採決・閉会)

第2回議会報告会を開催しました

那須塩原市議会は第2回議会報告会を市内6会場で開催しました。

26名全ての議員が、3つの班に分かれ、各班はそれぞれ2会場を担当しました。

従来からの市広報、議会だより及びホームページ等による開催の周知に加え、今回は、チラシを全戸配布するなど、一人でも多くの市民の方に開催のお知らせができるよう努めました。

今回の議会報告会は、まず「議会活動報告」を行い、次に参加者との「意見交換」を行いました。

「議会活動報告」のテーマは「定例会の審議内容・結果について」、「議会活性化検討特別委員会の活動状況について」及び「放射能対策検討特別委員会の活動状況について」の3つでした。

各報告に対する質疑応答後、参加者の皆様との「意見交換」を行いました。6会場での参加者はのべ93名であり、いただいたご質問・ご意見・ご要望の総数は、約100件でした。

それらの意見は、喫緊の課題である「放射能対策に関すること」をはじめ、「議会運営に関すること」、「ゆきバス・予約ワゴンバスに関するこ

と」、また、「道路管理・道路整備に関すること」など、多方面にわたりました。

議会報告会終了後は、各班の班長及び副班長を構成員とした「議会報告会班長会議」において、ご意見・ご要望の内容について整理及び分類を行いました。関係する委員会で検討するものをはじめ、市執行部に対し報告を行うものや、今後の議会活動の参考にするものなど、案件ごとに取り扱い方針を定めました。

引き続き、それらのご意見・ご要望について、議会報告会班長会議及び各委員会等において協議を進め、市政に反映できるよう努めて参ります。なお、主なご質問・ご意見・ご要望は、抜粋の上、次ページからご紹介いたします。



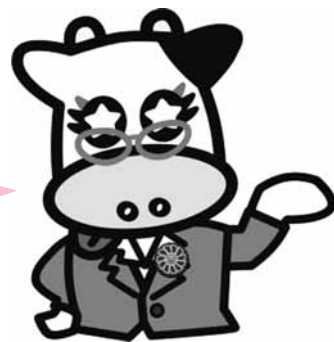
11月9日 稲村公民館の様子

【第2回議会報告会開催実績】

日 時	会 場	参加者数
平成25年11月 9日(土) 18:30～	稲村公民館	26名
平成25年11月11日(月) 13:30～	塩原公民館	4名
平成25年11月13日(水) 13:30～	鍋掛公民館	15名
平成25年11月14日(木) 18:30～	南公民館	18名
平成25年11月16日(土) 13:30～	高林公民館	16名
平成25年11月16日(土) 18:30～	狩野公民館	14名

素朴な質問

議会報告会って?!



那須塩原市牛乳消費拡大PRキャラクター
みるひい

議会報告会とは、議員が各地域に赴き、日頃の議会活動を報告することや、市民の声を直接伺うことです。

「あれも、これも」の時代から「あれか、これか」の選択が迫られる厳しい時代となり、ますます「議会の存在意義」が問われています。

そのため、議会報告会をとおりして議会の議決に対する説明責任を果たすことと、市民の声の中から政策課題を見出すことが議会に強く求められています。

参加者と議員との主な意見交換の内容をご紹介します

放射能対策に関する主な質問・意見・要望

問 汚染された牧草を全部保管することになっていましたが、2年も経つとほとんどが腐ってしまい、管理しきれいていない。市はどういった対応をしているのか？

答 まもなく市が牧草を管理・保管するための工事の入札が入る予定である。

意見 子ども・被災者支援法の具体的な準指定地域であっても、子どもたちが安心して暮らせるような内容になることを議会として求めてはどうか？

意見 学校をとおして配られた6項目の注意事項は当たり前の内容だが、時間の経過とともに危機意識が薄れている。非常に意味があると思うので、広報等で広く市民に知らせてはどうか？

答 国に対してはこれまで同様に福島県並みの扱いを求めていきたい。また、市民や団体の意見を受け止め、何が一番よいのかを真剣に考えて市執行部に対して物申していく。国に対してもきちんと言望していく。

意見 希望の有無ではなく、地域全部除染するのが市政としてあるべき姿ではないのか？

答 震災以降、線量の高い地域から始まり、18歳未満の子どもがいる家庭を集中的にやってきた。除染を実施する強制力はなく、個人の判断になっている。

問 議会が国と県に出した「原発事故子ども・被災者支援法」の基本方針に関する意見書の回答はどうなったのか？

答 国や県から市議会に直接回答されることはないが、国はパブリックコメント（意見公募）で出された意見に基づき、修正を行うのではないかと考える。

要望 放射線量を下げることが目的に、高いところを重点的にやってほしい。下がらないところは、下がるまでとことんやってほしい。

要望 国の除染メニューでできないところは、市の予算を投じるべき。甲状腺の検査は継続的に取り組んでほしい。

要望 にしなすの運動公園は高線量ながら除染が行われていない。子どもが遊んだり、小中学生の大会が開かれたりしているので、早く除染

するよう、市執行部に対し要望をしてほしい。

備考 にしなすの運動公園の除染は平成25年11月下旬より開始し、平成26年3月上旬に完了予定。



11月13日 鍋掛公民館の様子

議会運営・議会活動に対する主な質問・意見

意見 議会の傍聴者を増やすため、議場での拍手を認めては？

答 現段階では議員も傍聴者も拍手できない。傍聴者を増やす方法は議会として検討したい。

問 より議論を深めるために、市執行部からも議員に逆質問できる制度を取り入れる考えは？

答 既に取り入れている（反問権）。ただし、現在まで使われた場面

はなかった。

問 今回の議長・副議長選挙はどのように行われたのか？

答 立候補者は議場で所信表明を行った。その上で、投票による選挙を行った結果、中村議長と吉成副議長が当選した。

問 議会活性化検討特別委員会の中で通年議会を検討していることは非常によいことだと思いが採用している県・市はあるのか？

答 栃木県議会が全国でも早い時期に導入した。市町村レベルではまだ少ない。導入による利点もあり、検討していきたい。

問 議会と市執行部の力関係、役割はどうなっているのか？議会で採択した請願・陳情にもっと強制力はないのか？

答 市長には執行権があり、議会にはその執行をチェックする役割がある。議会は市民の声を市長に示すが、実行するかどうかは執行権者の考えによる。

問 議会日程をどのようにして確認すればよいのか？よくインターネットでと言われるが、見られない人はどうすればよいのか？

答 ホームページ以外では、公共施設への掲示物や新聞などで確認願いたい。



11月16日 狩野公民館の様子

その他市の事業に関する質問意見・要望

問 高齢者外出支援タクシー券が廃止され、代替としてバスを使うにもバス停が遠くて歩けない、近くを走ってさえないという現実をどう考え、今後どうするのか？

答 議会では高齢者外出支援タクシー券存続の陳情を採択した。会派によっては市長に対し要望書も提出している。いろいろな意見・要望を出したが、結果的に9月末で廃止となった。

問 湯宮・黒磯間のゆきバスが廃止されたのはなぜか？

答 10月1日から、ゆきバスの路線改定が行われ、同時に予約ワゴ



11月16日 高林公民館の様子

備考 平成25年12月11日、建設水道常任委員会は、新南下中野線整備計画の進捗を確認するため、委員を派遣し現地調査を実施した。

答 合併時の建設計画の中に組み込んでいる。確かに整備が遅れているが、今後、少しずつでも進んでいくことは間違いない。

問 新南下中野線を整備する計画はどうなっているのか？現在、地域住民が利用している道路は見通しが悪く、道幅も狭い。頻繁に車の接触事故が起きている。

答 アンバスを試行運転している。この中で、廃止路線と新規路線がでてきた。試行後、改善される予定なので、皆さんの声も伝え、利用しやすいものにしていきたい。

今後、委員会にて検討する主な意見・要望の内容を紹介します

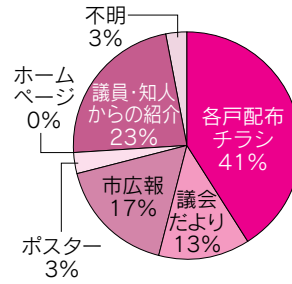
意見・要望	検討する委員会
議会日程を新聞折り込みで周知できないか。	議会運営委員会
子どもの健康診断の中に甲状腺がんの検査を含めるよう、市に要望してほしい。	放射能対策検討特別委員会
グラウンド周りの芝、通学路、公園など、まだ放射線量が高いところがある。自分たちでやると言っても、捨て場がなくてできない。	放射能対策検討特別委員会
18歳以下の子どもを預かる世帯も除染対象にしてほしい。	放射能対策検討特別委員会
放射能問題で金銭的負担をしている市民が、東電に損害賠償請求を行う場合の相談や弁護士費用負担などの支援を市でおこなってほしい。	放射能対策検討特別委員会
現在の除染は、全体の何パーセントを除染したと、それ自体が目的になっている。除染の目的は放射線量を下げ被曝を減らすことであり、線量を下げするための有効な方法を考えて、お金を使ってほしい。	放射能対策検討特別委員会
除染は面でやらないと効果がない。子どもの有無に関係なく地域全体で除染に取り組むことを議会で後押しできないか。	放射能対策検討特別委員会

【※平成26年1月24日、放射能対策検討特別委員会において放射能に関する意見・要望事項の検討を行いました。引き続き、検討を重ねて参ります。】

アンケートの結果

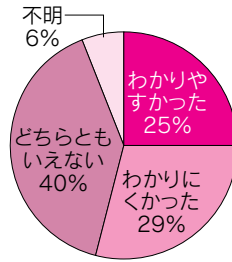
参加した93人のうち、55人からアンケートの回答をいただきました(回収率59%)。

開催を何で知ったか



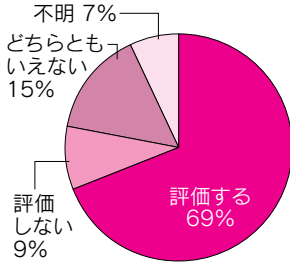
各戸配布チラシや議員からの紹介で知った方が多い。今後多くの方に参加してもらう工夫が必要です。

今回の報告会の内容について



平成24年8月に開催した時とほぼ同じ結果であり、わかりやすい報告への改善は今後の大きな課題です。

今回の報告会の評価は？



多くの方に評価していただきました。開催の継続はもちろん、内容の充実にも努めて参ります。

参加者の「意見

《報告会の感想やご意見》

- 資料のどこを説明しているのかわかりにくかった。(同意見多数)
- 参加人数が増えるように努力してほしい。
- 市の問題点や市政や議会で話題になっていることを話してほしい。
- 報告だけでなく、今後の取り組みについても説明すべき。
- 議員の態度や声の大きさはとても良かったが、報告説明の時間はもう少し短くてよい。
- 直接議員と意見を交換できるのは意義がある。参加して良かった。
- 議員個人の意見が聞けるようにしてほしい。
- 市民の意見を聞こうとするのは大変良いことだと思う。
- 報告会を開くことは評価するが、内容は前回から進歩がなく、わかりにくい。
- 次回報告会では、市民の意見がどれだけ吸い上げられたか報告してほしい。
- 勤め人としては、何カ所かで開催されたのでよかった。

《市議会や議員へのご意見》

- 市議会議員は堂々と市民の代表として頑張してほしい。
- 市執行部のチェックをするには議員はもっと勉強しなければならぬ。
- 通年議会をぜひ実現してほしい。
- 本会議だけでなく、委員会もインターネット中継してほしい。
- 放射能対策検討特別委員会の取り組みに期待する。格段の努力を。

報告会を振り返って

アンケート結果によると、多くの方に評価していただいた一方、内容がわかりにくかったとのご意見も多数いただきました。資料作りや説明の仕方を工夫して、より内容の充実した報告会の実施に向け努めて参ります。

また、市議会としてはより多くの市民の方に報告会へご参加いただき、市議会活動や市政に関心を持っていただきたいと考えております。今回は1会場平均の参加者が15名程度でした。より多くの方にお越しいただくための工夫にも努めて参ります。

報告会の会場では参加者の方々から多くのご意見・ご要望を承りました。その中で特に多かった放射能問題に関するものをはじめ、皆様の声を今後の議会活動や市政に反映させていくことで、この報告会が本当に評価していただけるものと認識しておりますので、市議会議員一同、誠意を持って取り組んで参ります。

次回開催のお知らせ

次回の議会報告会は、5月中旬に開催を予定しております。開催日時や会場などの詳細は、決まり次第各戸配布のチラシや議会だよりなどお知らせいたします。議会活動の報告だけでなく、皆様からのご意見などをたくさん伺いたいと考えておりますので、ぜひご参加ください。

議案の審議結果

本会議において審議された議案の結果は次のとおりです。
(※報告案件は除く)

平成25年第6回定例会（会期：11月29日～12月18日）

議案番号	件名	結果
同意第9号	人権擁護委員の候補者の推薦について（君島 ^{きみしば} モト工氏）	同意
議案第79号	平成25年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）	可決
議案第80号	平成25年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第81号	平成25年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第82号	平成25年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第83号	平成25年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第84号	平成25年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第85号	平成25年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第86号	平成25年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第3号）	可決
議案第87号	那須塩原市地域の元気臨時交付金基金条例の制定について	可決
議案第88号	那須塩原市公共施設等有効活用基金条例の制定について	可決
議案第89号	那須塩原市証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	可決
議案第90号	那須塩原市税条例の一部改正について	可決
議案第91号	那須塩原市都市計画税条例の一部改正について	可決
議案第92号	那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第93号	那須塩原市税外収入金に係る延滞金徴収に関する条例の一部改正について	可決
議案第94号	那須塩原市保育園条例の一部改正について	可決
議案第95号	那須塩原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可決
議案第96号	那須塩原市農業委員会の選挙による委員の定数及び選挙区に関する条例の一部改正について	可決
議案第97号	那須塩原市農業集落排水事業条例の一部改正について	可決
議案第98号	那須塩原市市営温泉事業条例の一部改正について	可決
議案第99号	那須塩原市上、中塩原温泉管理事業条例の一部改正について	可決
議案第100号	那須塩原市下水道条例の一部改正について	可決
議案第101号	那須塩原市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決
議案第102号	那須塩原市法定外公共物管理条例の一部改正について	可決

（次のページへ続く）

(前のページからの続き)

議案番号	件名	結果
議案第103号	那須塩原市営住宅条例の一部改正について	可決
議案第104号	那須塩原市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議案第105号	那須塩原市水道事業給水条例の一部改正について	可決
議案第106号	契約の締結について	可決
議案第107号	財産の取得について	可決
議案第108号	八溝山周辺地域定住自立圏の形成に関する協定の締結について	可決
議案第109号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第110号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
議案第111号	栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決
議案第112号	土地改良事業の施行について	可決
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて〔平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第6号)〕	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて〔平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第7号)〕	承認
発議第14号	予算審査特別委員会の設置について	可決
発議第15号	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について	可決

議会用語解説

【意見書とは?】

議会は、その地方公共団体の「公益に関する」ことである限り、国会または、国・県などの関係行政庁に議会の意思をまとめた文書を「意見書」として提出することができます。

議会には法人格がないため、請願を行う権利はありませんが、その代わりに意見書の提出が認められています。

新聞は国民の知る権利を支え、文字文化の中軸の役割を果たしている。消費税引き上げにより新聞離れが加速し、次世代の知的水準への影響に加え、販売店の経営悪化、従業員の雇用不安が危惧される。諸外国がとっているように、国に対し新聞への軽減税率適用の実現を強く求める。

新聞は国民の知る権利を支え、文字文化の中軸の役割を果たしている。消費税引き上げにより新聞離れが加速し、次世代の知的水準への影響に加え、販売店の経営悪化、従業員の雇用不安が危惧される。諸外国がとっているように、国に対し新聞への軽減税率適用の実現を強く求める。

陳情第9号を採択し、新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書を国に提出しました。

■ 発議第15号 新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について

意見書要旨

意見書

【会議録検索システム】稼働中!

会議録検索システムとは、定例会や臨時会の本会議における発言内容を、「開催年」や「キーワード」、「発言者」などで簡単かつ迅速に見つけ出すことができます。

会議録検索システムは、市議会ホームページからご利用できます。

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp>

那須塩原市議会 会議録検索システム

年別に 閲覧する

◆ 閲覧したい年を選択してください

◆ 会議録の種類を選択してください

◆ ボタンをクリックして 閲覧

会議

定例会

平成24年 12月 定例会(第5回)

平成24年 9月 定例会(第4回)

平成24年 6月 定例会(第3回)

平成24年 3月 定例会(第2回)

平成25年第6回那須塩原市議会定例会 請願・陳情審議結果

12月定例会で審議された請願・陳情の結果は次のとおりです。

区分	受理年月日	件名	提出者住所・氏名	結果
請願	H25.11.15 (第2号)	那須地区広域食肉センターの存続に関する請願	那須塩原市宇都野192番地1 大田原と場ありかた検討会 代表 倭文 輝男	採 択
陳情	H25.11.11 (第9号)	新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める陳情について	那須塩原市太夫塚6丁目234番地 那須塩原地区新聞販売組合 代表者 小倉 康彦 他9名	採 択

議会用語解説

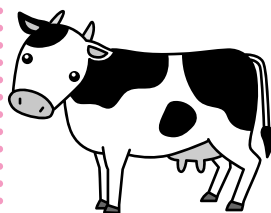
【請願・陳情とは？】

請願は、国や地方自治体等の公共団体に対し、その団体が担当する事項への希望を申し出ることです。地方議会では、議員の紹介により誰でも請願者として請願書を提出できます。

陳情は、請願とは異なり議員の紹介は不要ですが、法律上の権利行使が保障されたものではなく、その取り扱いは各議会によって異なります。

当議会では陳情であっても、議会運営委員会の判断のもと、請願と同様の処理を行っております。

なお、請願・陳情を「採択」した議会は、その実現に向けて法的拘束力は課されませんが、政治的・道義的責任を負うこととなります。



本市の酪農は生乳生産量本州一位で、市の発展に寄与した基幹産業である。食肉センターは酪農家の経営基盤を支える貴重な施設である。

賛成

鈴木 伸彦 議員

■請願第2号 那須地区広域食肉センターの存続に関する請願

討論

請願・陳情の提出のしかた

市民の皆さんの意見・要望等について、市議会へ請願及び陳情を提出する制度があります。

請願・陳情はいつでも受け付けております。当市議会では、年4回（3・6・9・12月）の定例会が開催されており、開会の10日前までに提出されたものが、その定例会で審議されます。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。（☎0287-62-7181）

【請願・陳情は、次の要領で提出してください。】

- ◎あて先（那須塩原市議会議長あて）、提出年月日、及び趣旨・理由等を簡潔に書いてください。
- ◎住所・氏名をはっきり書いて、必ず押印してください。
- ◎請願を提出する場合は、様式に従って紹介議員（那須塩原市議会議員）の記名押印が必要となっています。
- ◎請願者・陳情者が多数のときは、代表者を決めてください。

※受理されたものは、関係する委員会（総務企画・福祉教育・産業環境・建設水道等）で審査をいたしますので、多種類にわたる場合は、別々の請願・陳情として提出していただくことがあります。

※必要により図面（その他資料）を添付してください。

請願（陳情）内容
(趣旨、理由を書いてください。)

平成年月日 _____
 那須塩原市議会議長あて _____
 ○○に関する請願（陳情） _____
 紹介議員 _____ 印 _____
 (陳情の場合、紹介議員は必要ありません。)
 請願（陳情）者 _____
 住所 _____
 氏名 _____ 印 _____ 他名 _____

委員会の主な審査

予算審査特別委員会

■平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)

―議案の概要―

地方公務員給与の臨時特例法による給与削減及び職員の人事異動等に伴う人件費の過不足調整、国・県支出金等の交付額決定及び変更等に伴う予算の整理を行うとともに、各種政策課題に対応するために必要な経費など、35億9332万6千円を追加し、予算総額を533億1164万5千円とするものである。

質疑 関谷にある、からくり時計の管理費で上下水道の増額補正があるが、水道は何に使われているのか?

答弁 時計の手前に池があり、水を循環して池の状態を保っている。来年度は施設を休止し、維持管理費をかけないようにしたいと考えている。



からくり時計

質疑 東那須野街中サロン事業の概要は?

答弁 平成25年5月にNPO法人キャリアコーチが開設したサロンであり、パソコン教室や談話的なものが事業の中心である。



街中サロンひなたぼっこ
お笑い演芸の様子

質疑 高林地区の小中学校を対象とした、いじめ対策コンソーシアム事業の内容と今後の展開は?

答弁 文部科学省のいじめ対策事業の委託を受けたNPO法人が、研究事業として実施するもので、直接的ないじめ対策というよりも、自分の考えをきちんと相手に伝え、相手の気持ちを受け止めることができる子どもを育てていこうとする考え方である。その効果が本市の子どもたちにも有効であると検証できれば、市内の学校に広めていきたい。

質疑 ゆくバスと予約ワゴンバスは路線や時刻の改正を実施するのはいつ頃か?

答弁 今回の実態調査、アンケートに加え、いろいろな意見が来ている。それらを総合的に整理し、ニーズを踏まえ、最短で平成26年10月には改正にもつていきたい。

―委員会の結果―

全員異議なく可決すべきものと決した。

総務企画常任委員会

■八溝山周辺地域定住自立圏の形成に関する協定の締結について

―議案の概要―

経済、社会、住民生活等において密接な関係を有する大田原市を中心市とする八溝山周辺地域定住自立圏を形成するにあたり、大田原市と協定を締結するものである。

質疑 中心市との関係はわかるが、他の6つの周辺市町とはどのような関係になるのか?

答弁 あくまでも中心市である大田原市と各周辺市町の1対1の協定であり、周辺市町間の協定はない。事業ごとに参加する市町の数は違ってくるが、事業は大田原市を中心とし

て参加する市町が協力して展開する。
質疑 これから作ろうとしている本市を中心市とする定住自立圏との関わりはどのようなものか。2つの定住自立圏で重複する項目は、どのように調整していくのか?

答弁 2つの定住自立圏ではテーマが違ってくる。テーマの違いでお互いの特色を出していきたい。重複する事業については、どちらの定住自立圏で取り組むのがより効率的・効果的かという基準で、中心市同士で調整していきたい。

―委員会の結果―

全員異議なく可決すべきものと決した。

福祉教育常任委員会

■財産の取得について

―議案の概要―

とようら保育園の民営化に伴い、移転先用地を栃木県から購入するものである。

質疑 定員を30人増やすことで、待機児童の解消を図るものと思うが、待機児童はゼロ歳から2歳児が多いとようら保育園はゼロ歳から2歳児に重点をおいた形で取り組むのか?
答弁 とようら保育園は、一般の保

育園という前提で募集している。定員の120名はゼロから5歳児までの合計の枠と考えている。



老朽化が進み、敷地が狭いため同敷地内に建替えが困難な、とようら保育園

―委員会の結果―
全員異議なく可決すべきものと決した。

産業環境常任委員会

■那須塩原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

―議案の概要―

市民からの要望を受け、家庭用不燃用ごみ袋について新たに特小サイズ10リットル相当の不燃用ごみ袋を設け、1枚につき10円の手数料を定めるものである。

質疑 特小で1枚10円の不燃ごみ袋を製作することだが、どの程度

製作する予定か？

答弁 約30万袋程度づくり、備えておきたい。

―委員会の結果―

全員異議なく可決すべきものと決した。

建設水道常任委員会

■契約の締結について

―議案の概要―

合併後統合されず紙ベースのままであった道路台帳等の情報を、統合及びデジタル化することにより、市民サービスの一層の向上を図るためシステム整備業務委託契約を締結するものである。

質疑 紙ベースから管理システムに変えることによる利点はあるのか？

また、データ量はどのくらいか？

答弁 書類を検索するための事務量を軽減できる。データ量は1万3000件である。

―委員会の結果―

全員異議なく可決すべきものと決した。

市議会 Report

総務企画常任委員会・産業環境常任委員会 那須地区食肉センターの現地調査を実施

平成25年12月11日、総務企画常任委員会と産業環境常任委員会の合同による「那須地区食肉センター」の現地調査を実施しました。

この調査は、約3700名の署名とともに提出された「那須地区広域食肉センターの存続に関する請願」を審査するため、総務企画常任委員会と産業環境常任委員会の二つの常任委員会が連合（合同）による審査会を結成した上で実施しました。

当該施設を所管する那須地区広域行政事務組合の担当者から、施設の概要や平成30年に同施設を廃止する方針に至った経緯などについて説明を受けました。

那須地区食肉センターは、昭和46年に那須地区における畜産の振興と食肉の衛生的処理及び流通の円滑化を図る目的で大田原市内に設置されました。

と殺処理能力は、牛・馬などの大動物では一日あたり23頭、豚・羊などの小動物は一日あたり32頭であり、また、汚水処理能力は一日あたり200トンです。

平成21年からは、老朽化による維持修繕費の増加や大口養豚業者の撤退による利用件数の減少などの事情により、施設のあり方について検討

が行われました。

平成24年4月には、那須地区広域行政事務組合として、栃木県知事宛に、県主導による新たな大規模施設を県北に建設することを要望し、県は、平成25年3月、県内に3つある食肉センターを一つに統廃合し、新たな食肉センターの整備を進めることや、整備場所は県内全域からの肉畜集荷を勘案し、県央部を優先に検討することを「栃木県食肉流通合理化計画」に明記したとのことでした。

委員からは、統合後の新たな施設での事故畜（ケガにより起立不能などになった家畜のこと）の取り扱いや、施設建設候補地の選定の時期や条件などについて活発に質疑が行われました。

質疑後は施設を見学し、老朽化の程度やと殺処理工程を確認しました。（※審査結果は8ページを参照）



施設内見学の様子

ここが聞きたい!

●会派代表質問に3会派、市政一般質問に13議員

12月2日に会派代表質問、4日から6日、及び9日の4日間に市政一般質問が行われました。それぞれの議員が様々な課題に対して活発な質問を行いました。質問内容の一部を要約し掲載いたします。

12月2日

- ① TEAM那須塩原【君島 一郎 議員】 12
(1)平成26年度予算編成に関する基本方針について (2)除染対策について
(3)市民ファンドの実施状況について
- ② 公明クラブ【鈴木 紀 議員】 12
(1)平成26年度当初予算編成について (2)那須塩原市地球温暖化対策について (3)新庁舎建設について
- ③ 敬清会【相馬 義一 議員】 13
(1)平成26年度当初予算編成について (2)放射能対策事業について (3)農業行政について

12月4日

- ①佐藤 一則 議員 13
(1)パソコンの安全管理について (2)黒磯消防本部庁舎の建て替えについて (3)小学校の統廃合について
- ②山本はるひ 議員 14
(1)国民健康保険の運営について (2)前納報奨金制度について (3)海外都市産業交流促進事業について
- ③藤村由美子 議員 14
(1)市民協働のまちづくりについて (2)ゆ～バスと予約ワゴンバスについて
- ④星 宏子 議員 15
(1)いじめ防止対策について (2)那須塩原市発達障害児支援について
(3)共働きの家庭への子育て支援について

12月5日

- ⑤櫻田 貴久 議員 15
(1)黒磯駅周辺の再整備について (2)那須塩原市の観光振興戦略について
(3)那須塩原市の不登校対策について
- ⑥金子 哲也 議員 16
(1)教育文化行政について (2)福祉行政について (3)国際交流について
- ⑦相馬 剛 議員 16
(1)スポーツ施設整備計画 青木サッカー場について (2)スポーツ施設整備計画 テニスコートについて
(3)スポーツ施設整備計画 ソフトボール場について (4)スポーツ施設整備計画 野球場について
(5)スポーツ施設整備計画 陸上競技場について (6)スポーツ施設全体について
- ⑧若松 東征 議員 17
(1)那須塩原市の情報発信について (2)巨岩吊橋について (3)本庁舎窓口案内について
(4)本庁舎のロビーについて

12月6日

- ⑨齋藤 寿一 議員 17
(1)塩原視力障害センター跡地利用について (2)馬場整備について
- ⑩玉野 宏 議員 18
(1)平成26年度当初予算編成を踏まえた市政運営について
- ⑪高久 好一 議員 18
(1)生活保護行政について (2)シイタケ農家への支援について (3)国保行政について
- ⑫鈴木 伸彦 議員 19
(1)那須塩原市のマーケティングとブランディング戦略について (2)教育行政について
(3)都市計画法による開発許可及び関連する事務について (4)本庁舎移転とその他駅周辺の土地利用について

12月9日

- ⑬平山 啓子 議員 19
(1)防災対策について (2)子どもの命を守るため、児童虐待を防止しよう
(3)“市民の足”「ゆ～バス」「予約ワゴンバス」について

各議員の質問した内容を録画映像で配信しています。市議会ホームページをぜひご覧ください。

※ 各議員の掲載内容は、質問した議員自らが項目・問答の内容を選定しています。

◆12月議会傍聴者数 のべ 46人
◆12月議会インターネット中継アクセス数 のべ 1,037人

会派代表質問&市政一般質問

公約の実現は

26年度予算編成方針について



君島 一郎 議員

問 企画部長 新幹線通勤者に対する助成については、対象者や助成期間など、制度内容について検討しており詳細は今後決定したい。

除染対策について

問 平成23年度に公共施設の除染は実施したが、一般家庭の除染は対象外であったため、自費で除染した市民も多い。同じ市民であり、同じ被災者である。不公平が生じないようにすべきではないのか。

答 市長 市の除染着手までの間には、自費で除染を行った方々に対しては、除染内容の確認などが困難なことから、補助金等による対応は考えていないが、東電に損害賠償を請求する人への支援として、講演会の開催や弁護士との無料相談の案内を行っている。

問 市民ファンドの活用した事業を今年度開始するために、当初予算で1000万円が計上されているが、事業の進捗状況は。

答 市長 まず、市民全体に浸透するための講演会や広報については、広報への記事を7回掲載し、各種イベントにおいてもPRする。また、事業体設立を目指す市民の学習会は、設立準備会を5月に立ち上げ研究を進めている。

問 平成26年度当初予算は、どのような基本方針のもとで公約の実現と、市政運営に取り組むのか。

答 市長 持続可能な健全財政を維持するためには、平成25年度の市政運営方針にある、「入るを量りて出ざるを為す」に加えて、支出を収入の範囲内に抑えた財政運営を行い、さらなる市政改革を進め、少子化対策や定住促進を推進したい。

問 市が馬場整備をする場合と、民間事業者に委託する場合について、同じ効果をあげるための経費の検討はしているのか。

答 教育部長 現存する屋内馬場施設を最大限に活用する前提で、整備に係る事業費を検討したもので、他の事業者との比較はしていない。

問 那須塩原市の定住人口をふやすための施策と計画する、首都圏通勤者に対する助成制度の内容は。

平成26年度予算編成に当たって

誇れるまちづくりのために本市のPRを



鈴木 紀 議員

の在り方を検証しながら関係者の意見を伺って検討したい。

那須塩原市地球温暖化対策について

問 本市の地球温暖化対策のこれまでの取り組みや課題について伺う。

答 市長 本庁舎や公民館の屋根への太陽光発電装置の設置、クリーンセンターのゴミ焼却熱を利用したバイオ発電、太陽光発電装置を設置する市民への補助、家庭での省エネ活動推進を目的に環境家計簿の取り組みを呼びかけている。

問 高林財産地区森林の伐採材を活用した、木質バイオマス発電を提案したいがどうか。

答 副市長 バイオマスを活用した再生可能エネルギーについては、市政においても重要と位置づけられており、引き続き検討したい。

新庁舎建設について

問 市長就任3年目を迎えるにあたり、庁舎建設に対する所見を伺う。

答 市長 将来を見据えた都市の拠点形成の観点から、庁舎建設については、候補地の選定など建設に向けた準備を進める時期に来ており、建物、財源についてもシミュレーションを行っていききたい。

問 本市の持つ地域特性を生かし、個性を明確にするためには、乳生産本州一をPRすべきであり、一つの方法としてミルク、チーズ、アイスクリームなどを製造販売する目的で「ミルク館」の設置を提案したいがどうか。

答 産業観光部長 施設の設定には、今後の牛乳の消費拡大に向けたPRのあり方や、牛乳のまちとして

人々から選ばれるまちづくりを26年度予算編成のキーワードに選んだ理由は。

問 市長 本市の財政状況は、中長期的には歳入歳出のバランスにおいて厳しい財政運営を強いられることが予想されるため、人口の減らないまちづくりを目指す必要があると考え、キーワードに人々から選ばれるまちづくりを選定したものである。

人口の減らない住みよいまちづくりを目指す

平成26年度予算編成を考える

放射能対策事業について



相馬 義一 議員

問 小中学校の校庭以外の場所の除染について伺う。

答 市長 学校の中庭や校舎周りの除染は、平成26年度に実施する予定である。実施する際は、各学校の行事等に支障のないよう進めたい。

問 少子化対策・障害者福祉事業において、積極的な事業としてどのようなものがあるか伺う。

答 市長 待機児童解消事業として幼稚園から認定こども園へ移行するための建設補助、永田保育園整備事業、さきたま保育園整備事業を実施計画に計上している。また、障害者福祉事業では、障害者総合支援法に定められた福祉サービスや手話講習会等の事業を計上している。

問 新幹線通勤者への定期代助成、三世代同居と隣居のための住宅取得助成の内容について伺う。

答 市長 市内へ転入し、那須塩原駅から新幹線を利用して通勤する方を対象に、通勤用新幹線定期券の購入費用の一部を助成するもの。市内で三世帯同居や隣居を始める世帯に対し、住宅取得費用、増改築工事費用の一部を助成するものである。

問 放射能対策事業について

問 放射能対策事業について

答 市長 福島県平田村にあるひらた中央病院へのバス送迎を行っており、本市の子どもは、無料で検査を受けることができる。加えて、ひらた中央病院では、甲状腺がん検診についても本市の子どもは無料で受けることができる。(※時間的制約があり、バス送迎者は受診できない)これらについて、学校等を通じて周知し、不安をなくす努力をしてはどうかと思う。市の考えを伺う。

問 福島の調査結果や有識者の意見を基に、現時点で甲状腺検査を実施していない。検査を希望する市民に対しては、受け入れ可能な検査機関の情報を提供する。

問 平成26年度の米作及びTPP問題について、市の対応を伺う。

答 市長 本市の水稲の作付面積は減少する予定である。本市の米、酪農へのTPP問題は影響が大きいことから引き続き注視していきたい。

1 -市政一般質問

職員に配備されているパソコン

ウイルス感染等の安全管理対策は



佐藤 一則 議員

問 コンピューターは行政業務に欠かせないものであり、多数のコンピューターが職員に配備されている。サイバー攻撃等により、ウイルス感染や情報流出等の危険性があるため、その対策と管理体制を伺う。

答 市長 那須塩原市情報セキュリティポリシーを定め、職務に関連のないサイトへのアクセス規制や外部記憶媒体等の接続制限を行っている。情報流出対策やパソコン、外部記憶媒体等の持ち出しについては、情報システム管理運営対策基準に基づき、管理徹底を図っており、企画情報課が定期的な情報セキュリティ監査を実施し、個人情報等の適切な取り扱いの徹底に努めている。

問 老朽化が著しく、耐震構造不適の黒磯那須消防本部の現状と新消防本部庁舎建設計画について伺う。

答 黒磯消防本部庁舎建てかえについて

答 総務部長 消防本部庁舎は、建設後42年が経過し、新耐震基準を満たしておらず、雨漏り等の老朽化も進んでおり、一部の業務で支障をきたしていることを認識している。新庁舎建設計画の進捗状況は、庁舎建設検討委員会を組織し、用地の選定に向けた作業を進めているところで、具体的に決まっていない。

問 あくまでも市庁舎の移転新築が要件となるが、市役所本庁舎移転後の跡地が新消防本部庁舎建設の最適地の一つと考えるがどうか。

答 総務部長 市庁舎の跡地利用も検討等の一つに入ってくるのではないかと。

問 小学校の統廃合について

答 教育部長 各学校の統廃合準備委員会で統合年度や校名など、多岐にわたり協議を進めている。今後は準備委員会との詰めの協議を行い十分な理解が得られた段階で地域説明会を開き、2月頃正式決定したい。これまでの協議の課題としては、閉校する施設の跡地活用などがあり、その活用については小中学校跡地活用庁内検討委員会を組織し、地域住民との意見交換をはじめ、様々な角度から組織的に対応していきたい。

健全な制度運営を望む

国民健康保険の運営について



山本はるひ 議員

以上内容の答申だった。

問 税の見直し、特に引き下げの場合に入るものと出るもののシミュレーションをして下げてほしい。収納率について税の見直しとの関係はどうか。

答 総務部長 前回の見直しで収納率は1・18%増加した。来年度の見直しで現年度分は90%台に乗るのではないかと見込みを立てている。

前納報奨金制度について

問 この制度についての今後の考え方を伺う。

答 総務部長 県内では廃止した市町または廃止の方向の市町が19あり、本市も検討を進めている。

海外都市産業交流促進事業について

問 2年続けてのフランスへの研修は観光の活性化にどのように役立つのか。

答 産業観光部長 温泉の使い方はあるが、この研修は観光行政の方向性を学ぶ上で貴重である。温泉を活用した飲泉や蒸気吸入、美容等への取り組みは期待が持てる。食も温泉もフランスの文化や産業は非常に参考・手本になる。本市の学ぶことは数多くある。この研修を進めていきたい。

問 税率見直しに関する国民健康保険運営協議会への諮問とその答申の内容について伺う。

答 保健福祉部長 11月5日に税率引き下げ案ということで諮問をし、14日に答申をいただいた。所得割は現行7・4%を7・2%へ、均等割は一人当たり2万3千円を2万円に、平等割は2万1千円を1万8千円に引き下げるといふもので、賦課限度額は5万円引き上げて73万円にする

市民協働のまちづくりについて

目的を定め、仕掛けづくりと実証実験を



藤村由美子 議員

問 まちづくりの施策に市民が思い描く未来像は反映されているか。

答 市長 各種審議会、懇談会の開催、広報やホームページによる意見募集、関係団体との意見交換会、市民アンケート調査の実施などの手法により市民の意見を反映するよう努めている。

問 アンケートや外部機関のデータに頼りすぎているか。職員はまちに繰り出しているか。

答 企画部長 職員も一市民であり、地域において活動をしている職員も多数いる。その中からいろんな提言も施策の中に反映されている。

問 市内で活動するNPOの運営について、随時相談に乗っているのか。

答 企画部長 NPOから相談があれば、その都度乗れるような態勢を取っている。

問 市町村の地域支援事業に移行される見込みの介護保険サービス分野について、担い手となるNPOは確保されているか。

答 保健福祉部長 現時点ではなかなか厳しいと認識している。

問 ゆくバスと予約ワゴンバスについて、新路線について、どのような意見が届いているか。

答 生活環境部長 ゆくバスについては、駅を循環する路線ができて便利になった一方、右回りや左回りがありわかりづらいつとの意見がある。予約ワゴンバスについては、今までなかった地域を運行する路線ができて便利になった一方、当日予約ができるようにしてほしい、停留所を増やしてほしい、時刻を変更してほしい、などの意見がある。

問 予約ワゴンバスの前日までの予約というのは、早い段階で改善される予定はあるか。

答 生活環境部長 意見も多くある。なので、できれば早い段階で直さなくてはならないと考えている。

問 今後ルートマップや、わかりやすい路線図を作る予定はあるか。

答 生活環境部長 今後路線ごと、もしくは地区ごとの時刻表、もしくは路線ガイド的なものを検討したい。

安心して子育てできる市に

共働き家庭への子育て支援を



星 宏子 議員

た。これは充実しないとけない。

問 「子ども子育て会議」が設置されたが、内容を伺う。

答 市長 「子ども子育て事業計画」「次世代育成支援対策行動計画」「保育園整備計画」など、子ども子育てに関する施策を一体的に審議していくことを考えている。

那須塩原市の学習支援について

問 福祉教育常任委員会では滋賀県湖南市への視察を行ったが、今後、どのようにその結果を本市の学習支援に生かしていくのか伺う。

答 保健福祉部長 湖南市の発達支援システムは、就学前から就労まで情報のつながりがしっかりできています。本市も一つ一つの事業として見劣りするものはない。保護者との情報共有といった優れたところを本市に導入するためには、どういったシステムができるのか研究を進める。

いじめ防止対策について

問 文科省は「いじめ対策推進法」に基づき基本方針を策定した。本市のいじめ対策について伺う。

答 教育長 いじめを未然に防ぐため、今年度NPO法人那須塩原市いじめ対策コンソーシアムが、文科省の委託を受けて「那須塩原市におけるいじめ対策の研究事業」を展開している。

答 市長 放課後児童クラブの連絡協議会の集会で子どもたちのスペースが狭いと、役員、指導員の皆さんから繰り返し言われたのを、強く印象に残っている。この大きな課題については、私は万難を排してそういう方向でやりたいと強く思っている。

問 ファミリーサポートセンターの利用料金体制の見直しはあるか。

答 市長 料金の見直しは今は考えていない。

問 放課後児童クラブについての現状と課題について伺う。

答 教育部長 課題は公設民営クラブの施設整備で、学校の空き教室を利用してはいるクラブや施設規模が狭く、保護者の希望にこたえられないクラブもある。子ども子育て支援法により、6年生まで受け入れることになるので、整備計画を策定し、児童数の増加に対応したい。

住民の声を聞き官民一体での取り組みを望む

黒磯駅周辺地域の再整備について



櫻田 貴久 議員

問 黒磯駅周辺地域再生及び再整備するためのコンセプトと整備内容を伺う。

答 市長 都市再生整備計画案では、「都市機能の向上による持続可能な中心市街地づくりその再興」をコンセプトとしている。事業期間は平成26年度からの5カ年で、事業費の概算は約35億円である。

答 建設部長 35億円の事業費は、駅前図書館整備に10億円、東西連絡橋改修に12億5千万円、駐車・駐輪場整備に1億円、まちなか交流広場・交流センターの整備に8億円、道路整備に2億5千万円、その他ソフト事業等に1億円を見込んでいます。

問 黒磯駅周辺地域再生のため一番を優先するものと、必要な条件を伺う。また、地域住民との連携は。

答 市長 計画にある多種多様な事業のいずれかを優先するのでは

なく、全事業の実施により目標が達成される。また、地域再生には、活性化に対する地元の意欲や黒磯駅を拠点としたコンセプトが重要。地域住民との連携については、計画策定から地元の意見を参考にしており、今後計画の具体化や事業実施に当たっても地元の意見を聞いて進めたい。

不登校対策の取り組みについて

問 本市における不登校対策の基本方針と具体的対策は。

答 教育長 未然防止、早期発見、早期対応、再登校支援、再発防止を組織的に進めることを基本方針としている。具体的には、未然防止策としてハイパーQUを活用した魅力ある集団づくりや教育相談体制の充実などに取り組んでおり、ハイパーQUや校内アンケートの分析結果、カウンセラーや相談員の活用などによる早期発見・対応に努めている。再発防止策としてはカウンセラーや相談員と連携した組織的・段階的な登校継続への支援を行っている。

問 不登校生徒の自立に向けた今後の取り組みは。

答 教育長 各学校や適応指導教室、宿泊体験館メープルにおいて、不登校児童生徒の受け入れ体制を整備し、一人一人の実態に応じた自立支援を行っている。

那須地区文化芸術の未来に向けて

パイプオルガンの有効活用を望む



金子 哲也 議員

問 那須野が原ハーモニホールに待ちに待ったパイプオルガンが完成した。今後どのように活用するか。

答 教育部長 県内の公共ホールで初のパイプオルガンを市内外に広く紹介し、本市の音楽文化の普及に役立てたい。特に定期演奏会のほか、学校向けコンサートやオルガン講座も企画している。

また、日本を拠点に活躍するオルガニストのジャン・フィリップ・メルカールト氏をアドバイザーとして招へいし、演奏以外でも、オルガン調整や活用計画にアドバイスをもらうことになっている。

福祉行政について

問 児童虐待や夫婦間暴力が年々増加している。弱い立場の被害者をどう守り、支援していくのか。

答 保健福祉部長 本市では、児童虐待に関する市民からの通報を24時間体制で対応している。児童虐待は家庭相談員を、DVは婦人相談員を中心に県北児童相談所、那須塩原警察署などの関係機関と連携しながら、それぞれのケースに応じたきめ細やかな支援を行っている。

国際交流について

問 リンツ市との今後の友好関係をどう進めていくのか。

答 市長 リンツ市の副市長から、生徒間の交流を超え、本市との深い交流関係を築きたいとの発言を受け、青木家を通じて歴史的縁や中学生の相互交流事業の実績を踏まえ検討を進めてきた。その結果、那須塩原市誕生10周年記念事業の一環として、姉妹都市締結を行う方針で協議を進めることになる。

問 交流によって文化は成長し高度なものになる。リンツとの交流は近い将来、那須塩原市に驚くような大きな効果をもたらすと確信している。国際交流のしつかりとした基盤を築くべきと考えるがどうか。

答 市長 国際交流の重要性は十分理解しており、許される範囲で継続したいと考えている。

スポーツ施設整備計画において

全国大会が誘致できる規模の施設を



相馬 剛 議員

問 青木サッカー場についてどの程度の規模の大会を想定した整備を行うのか。誘致した国体の開催には対応できるのか。

答 教育部長 県、関東大会レベルの誘致、開催を考えている。国体については、誘致した以上当然受け入れできるように対応したい。

答 副市長 国体は他市町との分散開催を前提に誘致している。

問 施設の収容人数の想定は。また、駐車場、トイレ、スタンドは十分な設備となるのか。

答 教育部長 収容人数は想定していない。駐車場は750台、トイレは合計28個となる。不足する場合は、臨時駐車場や仮設トイレ、仮設スタンドで対応したい。

テニスコートについて

問 くらいそ運動場に20面のテニスコート整備が計画されているが、

日程的に来年のねりんピックに間に合うのか。また、現サッカー場にテニスコートが新設されるが、完成予想図はあるのか。

答 教育部長 既存の12面は来年度までに整備する。新設の8面はねりんピックには間に合わないが、大会には十分対応できる設備と考える。また、完成予想図はない。

野球場について

問 平成27・28年での整備が計画されているが、設計はいつ頃か。また、硬式野球に対応し、全国規模の大会ができる野球場になるのか。

答 教育部長 設計は27年度の予定。硬式野球に対応するように、球場の拡張、防護壁、スタンド、スコアボード、防球ネットの整備を計画しているが、全国規模の大会は想定していない。

スポーツ施設全体について

問 スポーツ施設は災害時の避難場所となるケースがあるが、施設整備計画で規定する必要があるのか。

答 市長 避難場所等の対策は、地域防災計画の中で指定しており、被災者が一定期間滞在する最低限の生活環境を満たしている、にしなすの運動公園体育館などの施設が避難所に指定されている。

那須塩原市の情報発信について

オープンデータの導入を求める



若松 東征 議員

問 インターネットを活用した新たな情報発信の手段として注目されているオープンデータとは。

答 企画部長 公的機関が保有しているデータを、一般の利用者がいつでも活用できるように公開したデータであり、民間企業が持つデータとの組み合わせで新たなサービスを生み出すと考えている。

問 全国各地の自治体がオープンデータによる情報発信に取り組み始めたが、本市の考えは。

答 企画部長 平成25年度において、オープンデータを取り組んでいる市、特別区は全国で7.7%である。データを公開するにあたってのニーズやメリットが感じられないなどの理由から意識は低いと感じる。本市としては、すでに統計データをオープン化しているが、利用者ニーズや課題を見極め検討したい。

巨岩吊橋について

問 板室地区の観光振興を図る目的で木の俣川に吊橋が建設され、兩岸に遊歩道が整備されたが、知らない市民が多いと感じる。市民へのPRは。

答 市長 板室地区の新しい観光スポットとして、巨岩吊橋と交流広場を整備し、本年7月13日にオープンした。市民へは、市内全域への班回覧によるチラシ配布や市のホームページやフェイスブックを使ってPRしている。また、板室温泉の旅館、ホテル宿泊者へチラシを配布するとともに、8月31日に、PRする観光ツアーを実施した。

本庁窓口案内について

問 本庁舎の窓口案内業務従事者が毎日変わるため、戸惑いがあると多くの市民から話がある。窓口案内業務の効果と課題は。

答 総務部長 効果としては、市民の皆様が迷うことなく目的の窓口案内に案内できていること、来庁の目的がスムーズに達成できていると捉えている。一方、課題としては、複数の来客があった場合に、一定時間待つてもらうことである。市民の皆様の声聞きながら改善に努め、当面は現状の体制で継続したい。

地に愛され歴史的価値も高い

塩原視力障害センター跡地の利用を



齋藤 寿一 議員

問 跡地について、現在までの国との協議の経過について伺う。

答 市長 平成24年11月に取得に向けて検討する旨を国に伝えた。現在までに4回、全体のスケジュール等の確認のため協議を行ってきたところだが、本市の基幹産業である観光業等に経済波及効果が表れる拠点となることが望ましいのではないかと考えており、公益性・公共性を考慮しながら具体的な検討を進めていくところである。

問 市有地となった場合、ヘルスツーリズムの拠点として活用することを視野に入れた今後の利用法の検討をどのように考えているのか伺う。

答 市長 ヘルスツーリズムは、本市にとって戦略的に重要であるため、観光戦略会議などを通して今後も検討し、早期に具体的な取り組みを行っていききたい。

問 敷地内にある現施設の活用をどのように考えているのか伺う。

答 市長 視力障害センターとして利用していた建物、施設等の再利用は考えていないが、当該地は大正天皇の御用邸跡地であり、防空壕や温泉の源泉など由緒ある歴史的遺産が現存することから、国に対し残してもらおうようお願いしている。

馬場整備について

問 施設の管理・運営等をどのように実施していくのか伺う。

答 市長 動物愛護及び管理に関する法律、動物取扱業の登録が必要となることから、指定管理者による管理を考えている。小学生の情操教育、障害者あるいは不登校児童のホースセラピー、体験乗馬などを考えている。利用について、無料あるいは安価なものとして市民1人1スポーツの種目として気楽に乗馬体験ができる運営を考えている。

問 施設の効果と将来性について伺う。

答 市長 自治体所有の馬場は全国的にも少ないため、馬場を所有することが可能であると考える。また、全国的にPRすることで、将来、定住促進にもつながるものと考えている。

圏域一体の取り組みに期待

八溝山周辺地域定住自立圏構想



玉野 宏 議員

問 八溝山周辺地域定住自立圏形成のメリットについて伺う。

答 企画部長 効率的で質の高い住民サービスの提供がなされ、大都市圏への人口流出を食い止めることができる施策であり、財政面でも国の特別交付税措置や各省庁の支援が優先的に受けられるなどがある。

問 定住自立圏形成により、労働人口の流出・少子高齢化に歯止めをかけられるような具体的な施策があるのか伺う。

答 企画部長 定住自立圏形成において策定する共生ビジョンにおいて、圏域で実施する事業等の詳細について検討していく。

問 市は地産地消の拡大をすすめているが、本市ではどの程度地域で消費しているのか。また、食を中心とする新たなネットワークを形成する考えがあるのか伺う。

答 産業観光部長 産地直売所による農産物等の販売、農産物及び加工品のブランド化、地元食材を活用した料理や「みるマンジエ」などのスイーツの開発・普及などで地産地消の拡大に取り組んでいる。地元農産物の地域での消費の動向に関する統計資料等はない。地産地消の分野は、八溝山周辺地域定住自立圏において今後強化する取組として検討していきたい。

問 JR黒磯駅西口を中心とした都市再生整備計画の具体的な施策を伺う。

答 市長 「①アーケード撤去の費用助成」「②空き店舗改修費用助成」「③地域コミュニティの形成や街中のにぎわい創出を図る新たなイベントへの支援」に加え、民間のまちづくり活動へのアドバイザー派遣事業、事業期間後の都市再興の取り組み継続を図るための事業活用調査なども計画している。

問 計画地域における景観には一定のルール作りが必要と考える。市の考えを伺う。

答 市長 まず地区住民の景観のルールづくりに対する意識統一を図り、合意が得られれば街並み修景整備に対しても支援をしていきたい。

受給する世帯が過去最多と報じられる

生活保護行政について



高久 好一 議員

問 「生活保護費の不正受給」が報じられている。当市の実態と事例はどのように分析されているのか。

答 保健福祉部長 24年度の本市における該当件数は20件、それに伴う費用徴収決定総額は約370万円となっている。事例の傾向は、虚偽の申請により保護費を詐取しようとする例はなく、いずれも保護受給中に申告すべき就労収入等を申告せず、結果として保護費が過大に支給されたというものである。

問 市の生活保護受給者は3月時点で1028人である。人口比は0.87%であり、全国平均(1.5%)の6割以下となっている。生活保護の受給で「特に黒磯地区の審査は甘いから受給者が多い」とよく言われる。市はどのように捉えているのか、考えを伺う。

答 保健福祉部長 隣接の市町と比較すると、平成25年10月時点における那須塩原市の保護世帯は773世帯、10377人で人口比0.883%、大田原市は526世帯、7102人で人口比0.932%、矢板市では229世帯283人で人口比0.830%であり、ほぼ同じ数字の割合である。那須塩原市は審査が甘いとすることはなく、法や要綱に基づいて適切に対応している。

問 12月議会に向けて大田原市、日光市、宇都宮市が国保料をそれぞれ変えることが報道されている。那須塩原市は大胆な対応をしなければ保険証取り上げ栃木県第1位の住民に冷たい市になってしまうと危惧している。「住民に選ばれる市を目指す」とする阿久津市政3年目の対策と考えを求めます。

答 市長 「保険料の引き下げ」を主流に改革案を協議・決定し、発表していく段階取りになる。新年度予算の前には、改めてどのぐらいの値下げで、どういうシミュレーションになるのか示せると思う。

保険証を取り上げる事例については、改定に合わせて理解し、勉強をしたいと思っている。

市民の満足度を高め

移り住みたいと思えるまちづくり施策を



鈴木 伸彦 議員

「全国学力・学習調査」について

問 調査結果について、本市の状況を伺う。

答 教育長 学力調査の結果については、全体的に小学校、中学校とも全国平均とほぼ同程度である。

問 子育てするなら那須塩原市、教育のまちづくりを念頭に、秋田県や福井県のような全国ランキングの上位を目指す考えはあるのか。

答 教育長 義務教育課程では大人に付けさせていくことが大事だと考える。学力調査は全国平均を超えることを目指していく。

都市計画法許可事務が本市に移管

問 移管によるメリット・デメリットは。また企業誘致等で本市の特性を生かした独自性を持てるのか。

答 建設部長 許可に至るまでの期間が一カ月程度短縮されるメリットがある。デメリットはない。独自性は可能であり県と調整中である。

合併時の約束、市庁舎移転について

問 那須塩原駅周辺の土地利用が遅れていると思う。市の顔であり地域活性化を踏まえた考えは。

答 市長 県北地域の広域的な拠点として、都市機能の集積と良好な景観の形成を図っていく必要があると考えている。

問 人口減少を抑え、人々から選ばれるまちづくりのため、総合的に本市をどのように分析し、ブランド化を図っていくのか。

答 企画部長 現在策定中の定住促進計画においてニーズ調査を行ったところであり、定住促進に向けた取り組みや観光戦略においては、那須塩原市の強みを前面に出した差別化、ターゲットの絞り込み、住んでいただける方のニーズへの対応等を念頭に施策展開を図っていく。

問 人口減少を食い止め、さらに発展していくにはどういった人たちに来ていただくのがよいのか。

答 企画部長 生産年齢人口の減少というのが将来の持続可能な行政運営にとって大きな問題だろうと認識している。若い子育て世代の方々に来ていただくことを考えていきたい。

市民の命を守る

防災対策について



平山 啓子 議員

問 指定避難所への防災倉庫の設置状況と今後の設置計画は。

答 総務部長 現在15の公民館全てに設置。今後公民館区単位で小学校等2カ所に設置し、合計で45の指定避難所に倉庫を整備したい。

問 公共施設に設置された自動販売機を災害時の飲料に活用できる仕組みを導入する考えはあるのか。

答 総務部長 飲料水の備蓄のほか、とちぎコープ生協等との協定による流通備蓄を行っている。また、避難所となる施設については、入札や使用許可の際にベンダー自動販売機の導入を検討したい。

問 指定避難所全体を見直す考えはあるのか。また道の駅に防災拠点機能を持たせる考えはあるのか。

答 総務部長 全ての指定避難所の再点検を行う必要がある。土砂災害等の危険地区にある施設や老朽

化により避難者の安全確保等ができないおそれのある施設は、指定を解除する。また、市内3カ所の道の駅については、防災拠点としてどのような活用ができるか研究したい。

問 女性の視点を反映させるため、防災女性部会を設置してどうか。

答 総務部長 今後はできる限り避難所の設営、防災啓発、訓練の実施等さまざまな場面で女性の視点が反映できるような体制づくりを進めたい。

子どもの命を守るため、児童虐待を防止しよう

問 教育委員会、児童相談所、警察、学校関係のネットワークが大事だと思われるが、市の取り組みは。

答 保健福祉部長 本人の同意を得ながら、関係機関が情報を共有し連携し支援するなど、未然防止に力を注いでいる。

市民の足「ゆ〜バス」「予約ワゴンバス」について

問 市民の声を聞くための手段として、バス車内や公民館等に市民要望箱を設置してどうか。

答 市長 市民の意見を広く継続的に聞く必要があるので、要望箱の設置について今後検討したい。

議会を傍聴してみませんか

定例会は**3月・6月・9月・12月**に開催されます。

次の定例会(3月議会)は、**2月28日(金)開会予定**です。

詳しい内容は随時ホームページでお知らせいたします。

➡ <http://www.city.nasushiobara.lg.jp>

【編集後記】

雪の中、凜として咲く「水仙」の花。厳冬に負けることなく大地にしっかりと根を張り咲くその姿は、とても美しいものです。

平安末期に中国から渡来し、雪の中でも春の訪れを告げることから、別名を「雪中花(せっちゅうか)」。本格的な春の訪れはまだですが、私たちに厳しい環境の中でも弛まずコツコツと努力する大切さを教えてくれる素敵な花です。

昨年12月には「多自然地域と居住都市の新たな共生」をうたった、那須地域定住自立圏構想の中心市宣言がなされました。寒い冬、先頭を切って咲く「水仙」のように、那須塩原市が先頭に立ち、自然を育み、人を育てるまちづくりを目指していきたいものです。

また、昨年11月の議会報告会にはたくさんの市民の皆様のご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。今月号に議会報告会の内容を掲載いたしましたので是非ご覧ください。

これからも読みやすく、親しみやすい議会だよりを編集していきたいと考えております。是非、皆様のお声をお寄せください。(星)

議会だより編集委員会

委員長 高久 好一	副委員長 鈴木 伸彦
委員 藤村由美子	星 宏子 齊藤 誠之
佐藤 一則	松田 寛人 若松 東征

議会日誌

10月	2日	福井県敦賀市議会来訪
	3日	議会報告会班長会議
	4日	議会活性化検討特別委員会視察(茨城県つくば市)
	10日	大分県佐伯市議会来訪 新潟県十日町市議会来訪
	17日	議員全員協議会
	21日	宮崎県延岡市議会来訪
	22日	議会活性化検討特別委員会
	23日	愛知県江南市議会来訪
	23日~24日	福祉教育常任委員会所管事務調査(滋賀県湖南市他)
	25日	議会報告会班長会議
28日	栃木県那須町議会来訪	
29日	議会だより編集委員会	
30日~11月1日	建設水道常任委員会所管事務調査(静岡県三島市他)	
11月	5日	千葉県勝浦市議会来訪
	6日	山形県天童市議会来訪 議会報告会班長会議
	7日	鹿児島県薩摩川内市議会来訪
	9日	議会報告会(稲村公民館)
	11日	議会報告会(塩原公民館)
	12日	埼玉県熊谷市議会来訪
	13日	議会報告会(鍋掛公民館)
	14日	議会だより編集委員会 議員全員協議会
	16日	議会報告会(南公民館) 議会報告会(高林公民館) 議会報告会(狩野公民館)
	19日~20日	総務企画常任委員会所管事務調査(新潟県長岡市)
21日	茨城県稲敷市議会来訪	
22日	議会運営委員会	
27日	長崎県五島市議会来訪	
29日	議会報告会班長会議	
29日~12月18日	平成25年第6回那須塩原市議会定例会	
12月	9日	議会だより編集委員会
	17日	議員全員協議会 議会だより編集委員会
	18日	議会活性化検討特別委員会

❖ 読みやすく、親しみやすい紙面づくりのために、ぜひご意見をお聞かせください。

❖ 議会だよりに関するお問い合わせ・ご意見、または音声版議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

[E-mail] gikai@city.nasushiobara.lg.jp

[TEL] 0287 (62) 7181